

測量・地理空間情報イノベーション大会へのご参加については、  
4月1日(水)より当協会のホームページ上で事前登録を開始しております。

# 測量・地理空間情報イノベーション大会 開催のご案内

当協会の公益事業の一環として、測量・地理空間情報に関する技術とそれを活用した新事業の展開、さらには人材育成や教育研修など、当該分野の技術革新に資する幅広い議論と情報発信の場として、「測量・地理空間情報イノベーション大会」を開催します。

■主催:公益社団法人 日本測量協会  
(日本学術会議協力学術研究団体)

■共催:スペーシャリストの会  
(空間情報総括監理技術者の会:SPの会)  
ジオメトリストの会  
(地理空間情報専門技術者の会:GMの会)

■後援:国土交通省 国土地理院

■日時:平成27年6月23日(火)~24日(水)

■会場:東京大学弥生講堂・弥生講堂アネックス  
(東京文京区弥生1-1-1 東京大学弥生キャンパス内)  
・弥生講堂:一条ホール(定員300名)  
および会議室(定員40名)  
・弥生講堂アネックス:セイホクギャラリー  
定員(80名)、エンゼル研究棟講義室  
(定員30名)

■プログラム(別紙)

■その他:正式版の公開および事前登録を行っております。

※CPDポイントの対象

東京大学弥生講堂 一条ホール/アネックス

THE UNIVERSITY OF TOKYO  
YAYOI AUDITORIUM, ICHIJO HALL/ANNEX



■アクセス:東京メトロ南北線「東大前」駅  
下車 徒歩1分  
東京メトロ千代田線「根津」駅  
下車 徒歩5分



東京大学弥生講堂一条ホール

平成27年6月1日現在

# 測量・地理空間情報イノベーション大会(初日)

主催:公益社団法人 日本測量協会  
 共催:空間情報総括監理技術者(SP)の会  
 共催:地理空間情報専門技術者(GM)の会  
 後援:国土交通省 国土地理院

平成27年6月23日(火)

時間	弥生講堂・一条ホール	弥生講堂・会議室
9:50-10:10	主催者挨拶・後援挨拶	
10:10-10:35	リアルタイム化する地理空間情報ビジネス 関本義秀(東京大学) (A-1)	(1)測量CPD活用の最新情報 (日本測量協会測量継続センター)
10:35-11:00	三次元計測技術とビジネス動向 河村幸二(合同会社スパークポイントリサーチ) (A-2)	(2) 測量・地理空間情報継続教育の最新動向 (日本測量協会測量継続センター)
11:00-11:10	休憩	休憩
11:10-11:35	地理空間情報の可視化とデータマネージメントビジネス 浜谷雅秀(株)価値創造技術研究所) (A-3)	「女性の技術力向上部会」設立報告会 (1) 設立主旨について(日本測量協会) (2) これまでの活動について(部会長)
11:35-12:00	赤色立体図表現と新たなビジネスへの展開 千葉達朗(アジア航測(株)) (A-4)	(3) これからの活動計画について(部会長) (4) 質疑応答など
12:00-13:00	昼休み	昼休み
13:00-14:00	<b>特別講演</b> 過去・現在から未来を語る ー測量界と歩んだ半世紀ー 村井俊治(公益社団法人日本測量協会会長) (A-5)	
14:00-14:10	休憩	休憩
14:10-14:35	三次元空間情報を活用した次世代の土木施工管理技術 澤 正樹(株)安藤・間) (A-6)	14:10-16:10 「地理空間情報の可視化」 株)価値創造技術研究所 浜谷雅秀氏らによる解説と実体験
14:35-15:00	屋内測位技術の動向とそのビジネスへの適用 小檜山智久(株)日立産機システム) (A-7)	
15:00-15:15	休憩	
15:15-15:40	地理空間情報を活用したグリーンエネルギー事業 加藤 哲(国際航業(株)) (A-8)	
15:40-16:05	地理空間情報を活用した物流支援サービス事業 田中秀樹(株)パスコ) (A-9)	
16:05-16:30	地方創生における地理空間情報の果たす役割 神原孝行(株)五星) (A-10)	
16:30-16:55	地理空間情報を活用した道路・構造物を対象とした維持 管理事業 大伴真吾(朝日航洋(株)) (A-11)	

17:30-19:00	<b>懇親会(有料) 会場:弥生講堂内</b> ※事前申込です。懇親会費(2,000円)は当日受付でお支払い下さい。キャンセルは、6月10日(水)まで。
-------------	---

# 測量・地理空間情報イノベーション大会(2日目)

主催: 公益社団法人 日本測量協会  
 共催: 空間情報総括監理技術者(SP)の会  
 共催: 地理空間情報専門技術者(GM)の会  
 後援: 国土交通省 国土地理院

平成27年6月24日(水)

時間	弥生講堂・一条ホール	弥生講堂・会議室	弥生講堂アネックス・エンゼル研究棟	弥生講堂アネックス・セイホクギャラリー
9:10-9:30	<b>MMSの最新動向を知る</b> MMSの現状と今後の動向 西村芳夫(㈱アスコ) (B-1)	<b>測位の最新動向を知る</b> 測位の現状と今後の動向 木寺幸司(㈱日本測量協会) (D-1)	<b>高分解能衛星の最新動向を知る</b> 高分解能衛星の現状と今後の動向 望月貴一郎(㈱パスコ) (G-1)	10:00-17:00
9:30-9:50	<b>その1:システムの最新動向</b> 計測車両・機器の最新動向 小川 満(㈱トプコン) (B-2)	<b>高精度測位社会に向けて</b> 小林三昭(ジェイアール東日本コンサルタンツ㈱) (D-2)	<b>高分解能衛星の今とこれから</b> 世界最高峰の分解能と位置精度を持つ衛星画像を活用した高付加価値製品・サービス 若松健司(㈱NTTデータ) (G-2)	第26回 「応用測量技術研究発表会」
9:50-10:10	<b>海外でのセンサの最新動向</b> 稲葉伸二(㈱みるくる) (B-3)	<b>ダイバーシティ・ナビゲーションに向けた技術開発</b> 小池義昌(NTTサービスエボリューション研究所) (D-3)	<b>SAR衛星の最新動向</b> 乾達雄(㈱パスコ) (G-3)	
10:10-10:30	<b>RIEGLモバイル用スキャナーの最新動向</b> 佐々木公一(リーグルジャパン(株)) (B-4)	<b>津波被害農地の調査におけるタブレットの活用事例</b> 庄林典秀(内外エンジニアリング㈱) (D-4)	<b>人工衛星SPOT6/7,Pléiadesの特徴と最新動向</b> 田村洋子(㈱サテライトイメージマーケティング) (G-4)	
10:30-10:40	休憩	休憩	休憩	
10:40-11:00	<b>その2:利活用の最新動向</b> 道路管理への利用 真田将英(㈱ウエスコ) (B-5)	<b>ネットワークRTKを利用した地下埋設物探査とその管理</b> 山本恭史(NTTインフラネット) (D-5)	<b>ブラックブリッジ社ラピッドアイ衛星の特徴と活用事例</b> 小川龍矩(パナックス㈱) (G-5)	
11:00-11:20	<b>河川堤防の点検への利用</b> 下鳴恒彰(㈱アスコ) (B-6)	<b>GNSSレベルの利用例</b> 鹿田陽己(㈱トプコン) (D-6)	<b>JAXA衛星の現状と今後の動向</b> 高橋陪夫(独)宇宙航空研究開発機構) (G-6)	
11:20-11:40	<b>鉄道管理への利用</b> 大釜弘志(アジア航測㈱) (B-7)	<b>建設機械のGNSSの最新利用例</b> 小林憲弘(コマツ) (D-7)		
11:40-12:00	<b>地域での利活用と今後の展望</b> 早川和夫(㈱テイク) (B-8)	<b>マルチGNSS時代に向けた電子基準点リアルタイムデータ配信システムの紹介</b> 木寺幸司(㈱日本測量協会) (D-8)	<b>ベンダー最新情報を知る</b> 情報化施工・CIM・点群関係 深山あい子(福井コンピュータ㈱) (H-1)	
12:00-13:00	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13:00-13:20	<b>UAVとその利活用の最先端を知る</b> UAVを用いた写真測量システム(SfM)ソフトの現状 村木広和(国際航業㈱) (C-1)	<b>CIMと情報化施工の最新動向を知る</b> CIMの現状と建設工事 黒台昌弘(㈱安藤・間) (E-1)	<b>電子基準点を利用した水蒸気量等の情報提供</b> 木元昭則(日本テラサット㈱) (H-2)	第26回 「応用測量技術研究発表会」
13:20-13:40	<b>その1:UAV・センサの最新動向</b> UAV機器の最新動向 金子公一(ライカジオシステムズ(株)) (C-2)	<b>CIMと情報化施工の最新動向</b> CIM構築における最新設計ソリューション 田村弥生(オートデスク(株)) (E-2)	<b>ネットワーク型RTK-GNSSの最新の事例</b> 高橋利幸(日本GPSデータサービス(株)) (H-3)	
13:40-14:00	<b>TrimbleUX5の利用事例</b> 藤田義人(ジオサーフ(株)) (C-3)	<b>CIM構築における最新情報化施工</b> 武藤貴士(㈱トプコン) (E-3)	<b>ネットワーク型GNSS-RTK配信を利用した情報化施工</b> 岩田好正(㈱)ジェノバ) (H-4)	
14:00-14:20	<b>RIEGL VUX-1UAV搭載型レーザー・スキャナーとシステムの最新動向</b> 佐々木公一(リーグルジャパン(株)) (C-4)	<b>空間情報と三次元設計</b> 亀田雄二(復建調査設計㈱) (E-4)	<b>スマート情報航を利用したソリューションの現状と課題</b> 北原敏夫(㈱)リプロ) (H-5)	
14:20-14:30	休憩	休憩	休憩	
14:30-14:50	<b>その2:利活用の最新動向</b> 小型無人ヘリロボットを用いた三次元計測・構造物調査 渡辺 豊(ルーチェサーチ㈱) (C-5)	<b>CIMサイクルを廻せ</b> 木村了三(朝日航洋㈱) (E-5)	<b>陰陽図表現とその利用例</b> 秋山幸秀(朝日航洋(株)) (H-6)	
14:50-15:10	<b>RESTECでのUAVの活用事例</b> 遠藤貴宏(一財)リモートセンシング技術センター) (C-6)	<b>3Dモデルと情報化施工を組み合わせた精密施工法</b> 黒台昌弘(㈱安藤・間) (E-6)	<b>精密地形模型の縮尺の違いによる地物認識性に関する検討</b> 木之下章(東京カートグラフィック(株)) (H-7)	
15:10-15:30	<b>災害調査への利用</b> 原田耕平(㈱アスコ) (C-7)	<b>レーザ測量の防災分野での利用を見る</b> 地上・低空・航空からのレーザ測量と防災分野での利用現状 鈴木 寛(朝日航洋(株)) (F-1)	<b>高精細航空機搭載型イメージャー(CAST)による新たな空間情報技術への利活用</b> 吉田夏樹(中日本航空(株)) (H-8)	
15:30-15:40	休憩	休憩	休憩	
15:40-16:00	<b>近代化遺産の記録保存におけるUAV計測技術の紹介</b> 西村正三(㈱計測リサーチコンサルタント) (C-8)	<b>レーザ測量と防災分野での利用動向</b> 山地災害調査への航空レーザ測量の利用 光安利樹(アジア航測(株)) (F-2)	<b>KUMONOSについて</b> 中庭和秀(関西工事測量(株)) (H-9)	
16:00-16:20	<b>ラジヘリによるレーザ計測の精度検証</b> 高野正範(中日本航空(株)) (C-9)	<b>豪雨災害による斜面崩壊への地上レーザ測量活用事例</b> 恩田宏明(㈱テクノス) (F-3)	<b>UAVを用いた空中三角測量による地形図データ整備について</b> 河相亮介(㈱)かんこう) (H-10)	
16:20-16:40	<b>UAV用画像解析ソフトウェア最新動画</b> 金子順記(㈱トプコン) (C-10)	<b>高密度航空レーザ測量による斜面調査のスクリーニング手法</b> 小野貴稔(中日本航空(株)) (F-4)	<b>ジオサーフが提案するGNSSソリューション</b> 竹添明生(ジオサーフ(株)) (H-11)	
16:40-17:00	<b>測量分野におけるUAVの安全飛行に向けた取り組み</b> 鵜飼尚弘(㈱)ジェノバ) (C-11)	<b>火山災害調査へのレーザ測量の利用</b> 大山容一(国際航業(株)) (F-5)	<b>RIEGLレーザー・スキャナー 新製品・アプリケーションのご紹介</b> 佐々木公一(リーグルジャパン(株)) (H-12)	
17:00-17:20	<b>ドローンを使った写真測量</b> 伊豆智幸(㈱エンルート) (C-12)	<b>洪水氾濫解析への航空レーザ測量の利用</b> 岡部貴之(㈱)パスコ) (F-6)	<b>Survey&amp;VR~UV-win/Road電子国土地図サービスプラグイン</b> 松田克巳(㈱)フォーラムエイト) (H-12)	

17:20-17:30 閉会式